

2015(H27).01.25

新人戦の5位・7位決定戦は24－0で東洋大牛久に勝利

1月25日(日)午前10時30分からト伝の郷運動公園(鹿嶋市)で新人戦の5位・7位決定戦が行われ、日立一高は東洋大牛久高校に前半17－0、後半7－0、計24－0で勝ちました。(※5位に入賞し、勝田工業高校と並んで県立高校第1位です。)

この試合も都合により事務局が行けませんでしたので、1回戦と同様に父母のOさんにご提供いただいた情報をお届けします。



《観戦記》※一部、原文に加筆させていただきました。

前半は、あいかわらず開始直後に自陣に押し込まれた以外は、展開・ディフェンスともに素晴らしく、ナイスゲームでした。

先週の茗溪戦での嫌なムードを振り払うようなハツラツとしたプレーで、あの試合の苦い経験で何かに変化したように、3トライをあげました。

後半は、前半とはまるで別のチームの様な、防戦一方の苦しい展開が続きます。前半に効果的に見られたキックも少なく(せっかくの風上も)勝ちを意識したのか、スタミナが落ちてきたためか、消極的なプレーが随所に見られました。

しかし、1年生フランカーの藤沢君が脳震盪を起こしながらも懸命にタックル！自陣ゴール前5mでは粘り強くディフェンスして、カウンターでダメ押しのトライ！！24-0と、価値ある完封勝利で締めくくりました。

昨年秋に東洋大牛久に完封負けした試合内容を、そのままお返しした結果となり、今後はワンステップ上の私立4強にチャレンジすることになるでしょう。

まずは新人戦の結果としては、合格点ではないでしょうか(^_^)

PS:課題は多いものの、後半のディフェンスの頑張りで完封したことが、このチームの底上げができていることを意味していると思います。

… Oさん、いつもご協力・応援いただき、ありがとうございます。m(_)_m

そうですね。完封できたところに価値がありますね。

後半、風上なのに自陣での戦が多かったのは、エリアマネジメントとゲームプランに課題を残しているのでしょうか。

新人戦の終了後～関東大会県予選までは、年間を通して公式戦の試合間隔が一番長く、チームの自力と個人の体力・スキルを高めるのに最も適した時期です。

部員一人ひとりが高い意識を持って、大きく飛躍してくれることを期待しています。

お忙しい中、新人戦の応援に駆けつけてくださった、OB・父母・関係者の皆様、ありがとうございました。これからも、日立一高ラグビー部を よろしく願いいたします。